

大甕駅周辺地区 整備計画素案について



目次

- 第1回委員会の内容の確認(まとめ)
 - 全体像
 - 課題のまとめ
 - 課題とまちづくりの方向性
 - まちづくりの方向性
- 委員会でのご質問に対する回答
- 委員アンケートの概要及び事務局案
- 整備計画素案について
 - まちづくりの方向性と整備計画素案の対応
 - 整備計画素案

● 第1回委員会の内容の確認(まとめ)

上位計画等

基本計画 (H18.3)

都市計画マスタープラン (H12.12)

交通バリアフリー基本構想(その2) (H20.3)

交通バリアフリー特定事業計画(その2)(H21.3)

各個別の 構想・調査

大みか駅周辺地区整備方針検討懇談会 (H14.6)

大甕駅周辺整備基本構想 (H15.3)

大甕駅周辺地区整備手法検討調査 (H16.3)

日立電鉄線跡地活用整備基本構想 (H21.3)

大甕駅自由通路設置等整備検討業務委託 (H23.1)

整備計画

大甕駅周辺地区整備計画
...本委員会で策定

第1回 資料より

課題の まとめ

既往構想・調査で
挙げられた課題、
及び直近の状況
を踏まえ課題を整理。

※位置・大きさ等はイメージ

西口駅前広場の位置・大きさ

BRTと駅(自由通路含む)の接続のあり方

西口駅前広場周辺の機能

広域避難場所としてのアクセスのしやすさ

まちづくりと連携したオープンなキャンパスへの再編

駅周辺におけるバリアフリー化の遅れ(高低差)

西口へのアクセス

東西市街地の分断(東西アクセスが困難)

東口への交通の集中・輻輳

東口のまちが賑わいに乏しい

基盤未整備の低未利用地

アクセス道路沿線の土地利用

広域ネットワークから見たアクセス道路の日立港線への接続位置

凡例

- 駅周辺の課題
- 駅東側の課題
- 駅西側の課題
- 西側整備を進める上での課題
- その他の課題

0 100 500 m

① 目標

～豊かな環境に包まれ、若者が映え、多様な出会いのあるまち～
 (大みか駅周辺地区整備方針検討懇談会より)

② まちづくりの方針

(大甕駅周辺地区整備基本構想より)

- ・ 大学と地域が出会うまち
- ・ 多様な交流と賑わいのあるまち
- ・ 新たな雇用の生まれるまち
- ・ 幼児から高齢者まで楽しく住み続けられるまち
- ・ 海・緑・街並みが美しいまち

③ 課題のまとめ

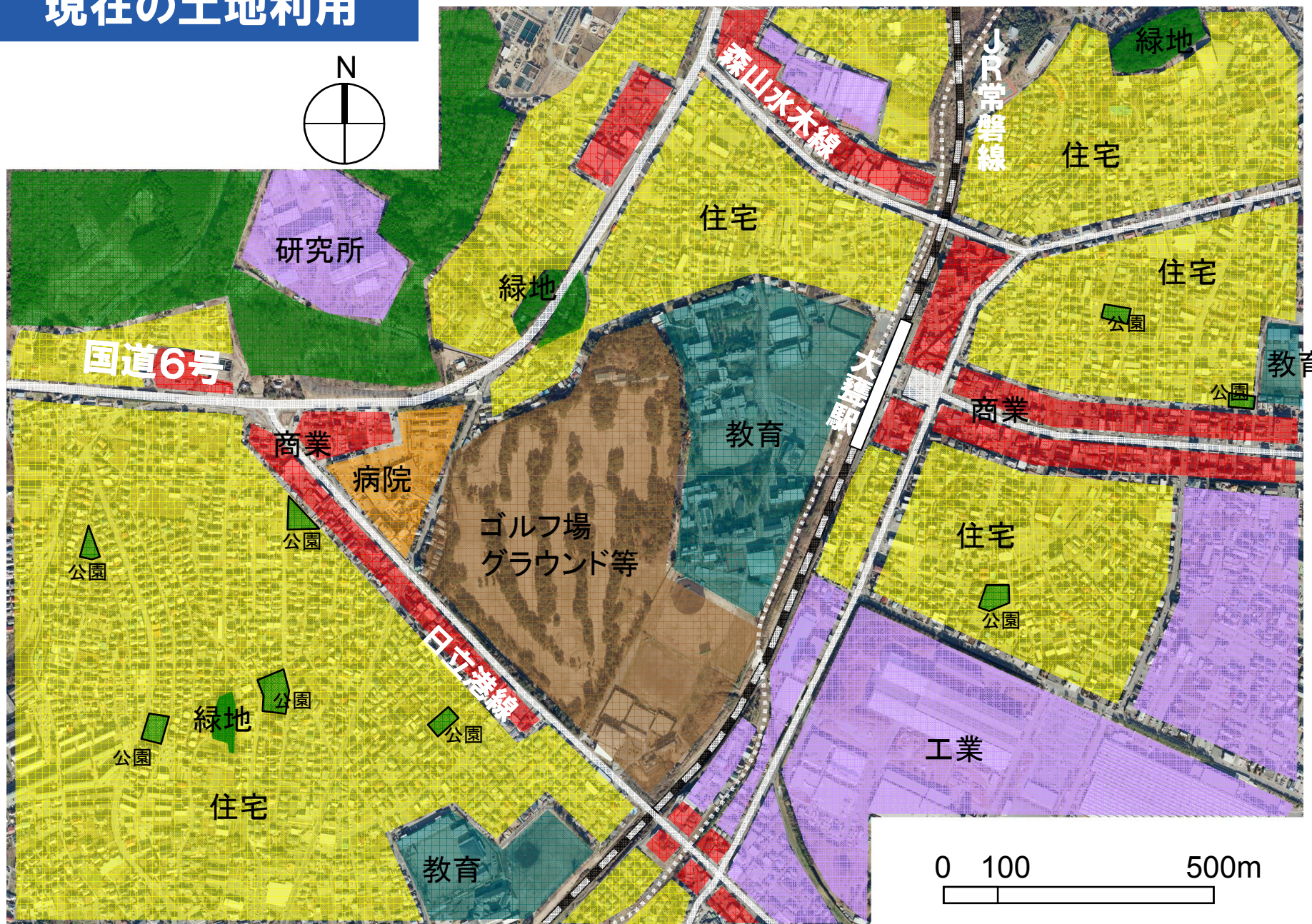
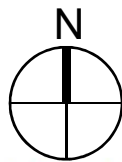
<p>現状の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東口への交通の集中・輻輳 ・ 東西市街地の分断(東西アクセスが困難) ・ 駅周辺におけるバリアフリー化の遅れ(高低差) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東口のまちが賑わいに乏しい ・ 基盤未整備の低未利用地 ・ 広域避難場所としてのアクセシビリティ
<p>まちづくりを進める上での課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西口へのアクセス ・ 西口駅前広場の位置・大きさ ・ BRTと駅(自由通路含む)の接続のあり方 ・ 西口駅前広場周辺の機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセス道路沿線の土地利用 ・ 広域ネットワークから見たアクセス道路の日立港線への接続位置 ・ まちづくりと連携したオープンなキャンパスへの再編

④ まちづくりの方向性

1. JR常磐線大甕駅舎改修により、駅構内の移動を円滑化し交通利便性の向上を図る。
2. 自由通路整備により東西市街地の一体化を図ることによって、駅利用者の利便性を向上させるとともに東西交流を促進する。
3. 大甕駅西側にBRT運行の交通拠点を整備することにより、交通流動の円滑化を促進する。
4. 大甕駅西側に南北軸の道路ネットワークを形成することにより、周辺交通の円滑化を促進するとともに災害時等における緊急動線の確保を図る。
5. 広域避難場所へのアクセス性を高めること等により、安心して住み続けられるまちづくりを進める。
6. 既存の優れた自然景観を活かしながら、緑のネットワークと地域色豊かなまちづくりを進める。
7. 市民、企業、学生等多様な主体の参加を得て協働のまちづくりを進める。

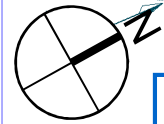
● 第1回委員会でのご質問に対する回答

現在の土地利用



現在の状況

(第1回委員会でのご質問に対する回答)



西側(山側)

駐車場

26.76

27.73 下りホーム

日暮里方

JR常磐線

いわき方

30.67 上りホーム

現駅舎

コンビニ

27.66

26.95
26.93 駐輪場

交番

27.14 駐車場

26.60 駐車場

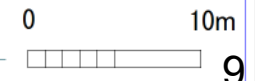
26.99
コイン
パーキング

28.72
25.89 東側市街地

東側(海側)

駅前広場(東側)

バス停

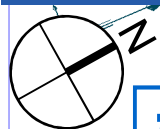


9

自由通路(地下案)イメージ

西側駅前広場

※今後の検討により位置・形状等
が変わる可能性があります



西側(山側)

西側駅前広場へ

大学方面へ

階段

階段

(自転車スロープ付)

下りホーム

日暮里方

JR常磐線

いわき方

上りホーム

駅舎
(地下)

EV

階段

階段

駐輪場

交番

駐車場

駐車場

コイン
パーキング

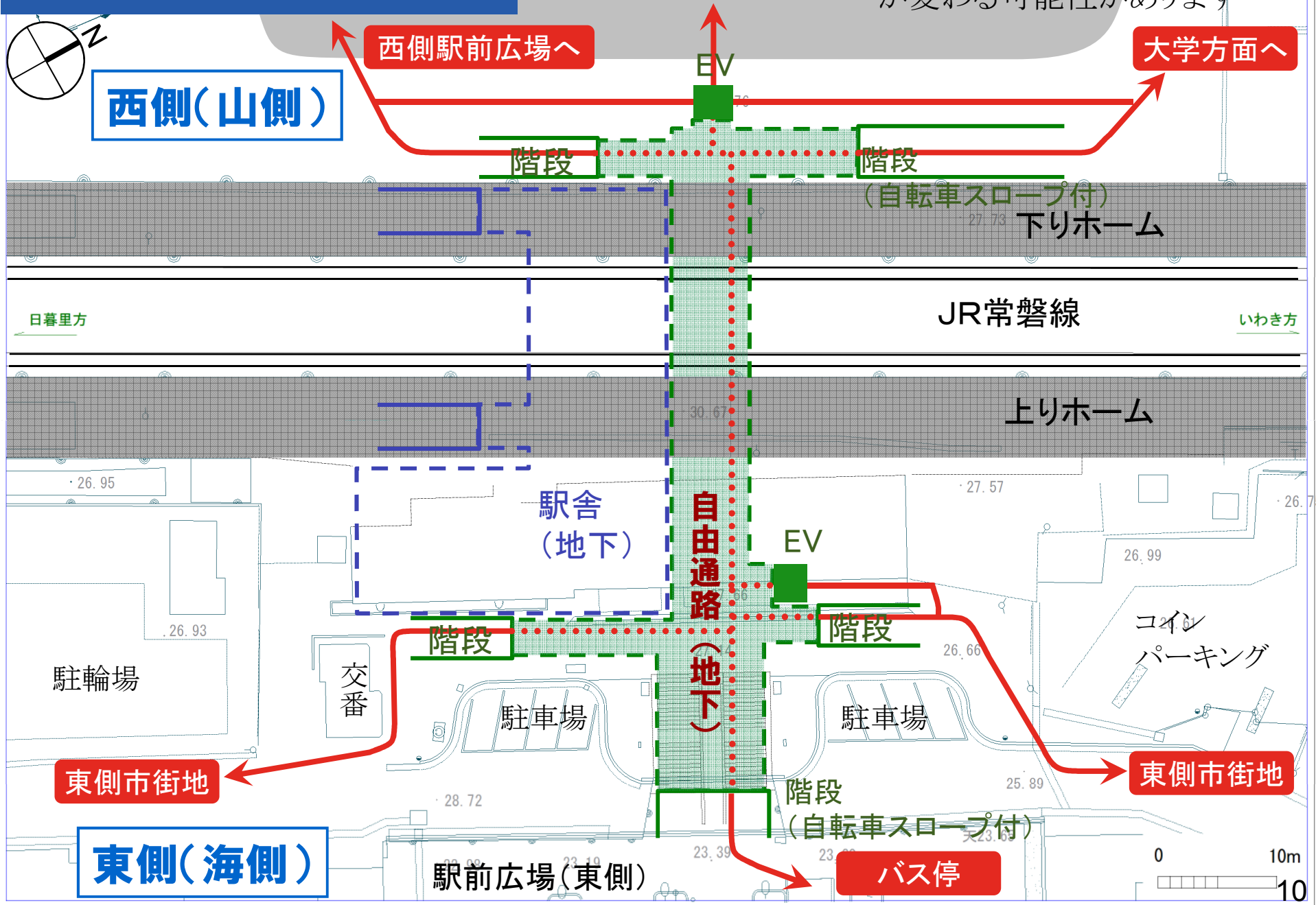
東側市街地

東側市街地

東側(海側)

駅前広場(東側)

バス停



● 委員アンケートの概要及び事務局案

委員アンケートの概要及び事務局案(1)

計画全般について

意見内容	事務局案
学園所有の電鉄線跡地を西口広場等としてどの程度使用するのか。	駅利用者や地権者などの土地利用の意向を踏まえて検討を行います。
駅の東西に駐車場を設置してほしい。	
<ul style="list-style-type: none">・まちづくり方針の7.「市民、企業、学生等多様な主体の参加を得て協働のまちづくりを進める」は踏み込みすぎではないか。・計画の目標(目的)が何であるのか明確にしてほしい。点(駅)なのか面なのか、ソフトも含むまちづくりなのか。	今回の計画策定は、駅周辺のハード整備になりますが、どのようにそれらのハード施設を使うのかという想定を行う必要があります(ハードとソフトは表裏一体)。そのためには、市民、企業、学生等からの意見が重要であると考えています。

委員アンケートの概要及び事務局案(2)

駅舎・地下通路の整備について

意見内容	事務局案
地下駅となった場合の自由通路のイメージ(高低差→バリアフリー化)	第2回委員会においてイメージを提示します。(P10参照)
地下道は暗いイメージ。可能な限り照明的にも明るくしてほしい(防犯上)	今後の詳細設計の際に、省エネ性能も考慮しながら照明計画の検討を行います。
地下通路案について、利便は向上するが、節電等により暗がりになるのはいかがなものか。	

委員アンケートの概要及び事務局案(3)

道路ネットワークの整備について

意見内容	事務局案
森山水木線から西口へのアクセス方法(パチンコ店出入りの車との関係)道幅を広げるのは困難と思われる。	今後、技術的検討を行います。
西側の道路計画を示してほしい。	第2回委員会において計画素案を提示します。(P19参照)
大甕クラブから内山商店までは通学路(スクールゾーン)になっています。歩道と車道を分離してほしいとの意見を聞くことがありますが、その対応は？	当該道路から新設されるアクセス道路への交通量の移行も考慮しながら、今後検討を行います。

委員アンケートの概要及び事務局案(4)

その他

意見内容	事務局案
<p>大甕地区は大雨の時、対応が問題。百年に一度の大雨にも十分対応できるような設備としてほしい。</p>	<p>雨水排水計画については、今後検討を行います。</p>
<p>BRTのバスレーンは大橋からにしてほしい。</p>	<p>日立電鉄線跡地に関しては、平成21年3月に策定した「日立電鉄線跡地活用整備基本構想」において、沿線のコミュニティや住民などの意向を踏まえ、整備方針が定められています。 (旧久慈浜駅～大橋間は一般道路として活用します。)</p>
<p>久慈浜から大橋までの路線を拡幅し、一般道にすることはやむを得ないが、BRT上を運行するバスはそのまま大橋まで延長し、BRTと同じく運行してほしい。 坂下地区から大甕駅へのアクセス手段が坂下地区にとっては不可欠。 また現計画では南部地域から切り離され僻地化に拍車がかかるのではと住民が不安を抱く。</p>	
<p>南部地域は近隣市町村からの出入り口、また日立港を起点として発展の可能性を持っているが、今回のBRT計画はこの地域の交通体系のなかでどう位置づけられているのか。</p>	

● 整備計画素案について

まちづくりの方向性

整備計画素案

- 1 JR常磐線大甕駅舎改修により、駅構内の移動を円滑化し交通利便性の向上を図る。
- 2 自由通路整備により東西市街地の一体化を図ることによって、駅利用者の利便性を向上させるとともに東西交流を促進する。
- 3 大甕駅西側にBRT運行の交通拠点を整備することにより、交通流動の円滑化を促進する。
- 4 大甕駅西側に南北軸の道路ネットワークを形成することにより、周辺交通の円滑化を促進するとともに災害時等における緊急動線の確保を図る。
- 5 広域避難場所へのアクセス性を高めること等により、安心して住み続けられるまちづくりを進める。
- 6 既存の優れた自然景観を活かしながら、緑のネットワークと地域色豊かなまちづくりを進める。
- 7 市民、企業、学生等多様な主体の参加を得て、協働のまちづくりを進める。

以下の各項目により、東西市街地の一体化・周辺交通の円滑化等の目的を達成する。

●整備項目 ...具体的な整備事業を伴う

駅舎	自由通路・駅舎イメージ図(P10)参照	
自由通路	参照	
BRT	専用路 停留所	全体図(P19)参照
西口駅前広場		
南北アクセス道路		

●推進項目 ...整備計画に基づいたまちづくりを推進

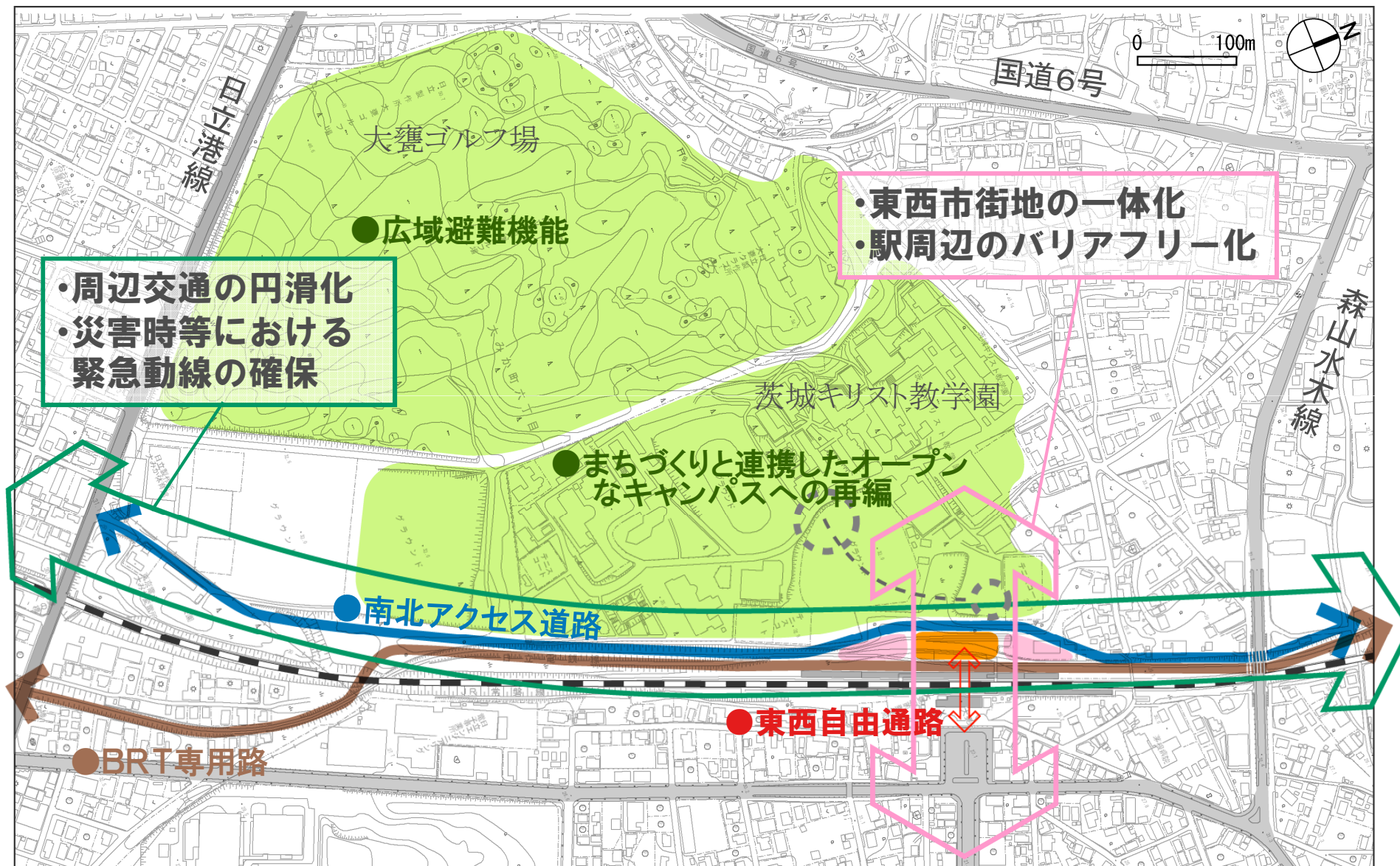
- 広域避難場所へのアクセス性向上
- 緑のネットワークと地域色豊かなまちづくりの推進
- 多様な主体の参加を得た協働のまちづくりの推進

整備計画素案

●整備項目

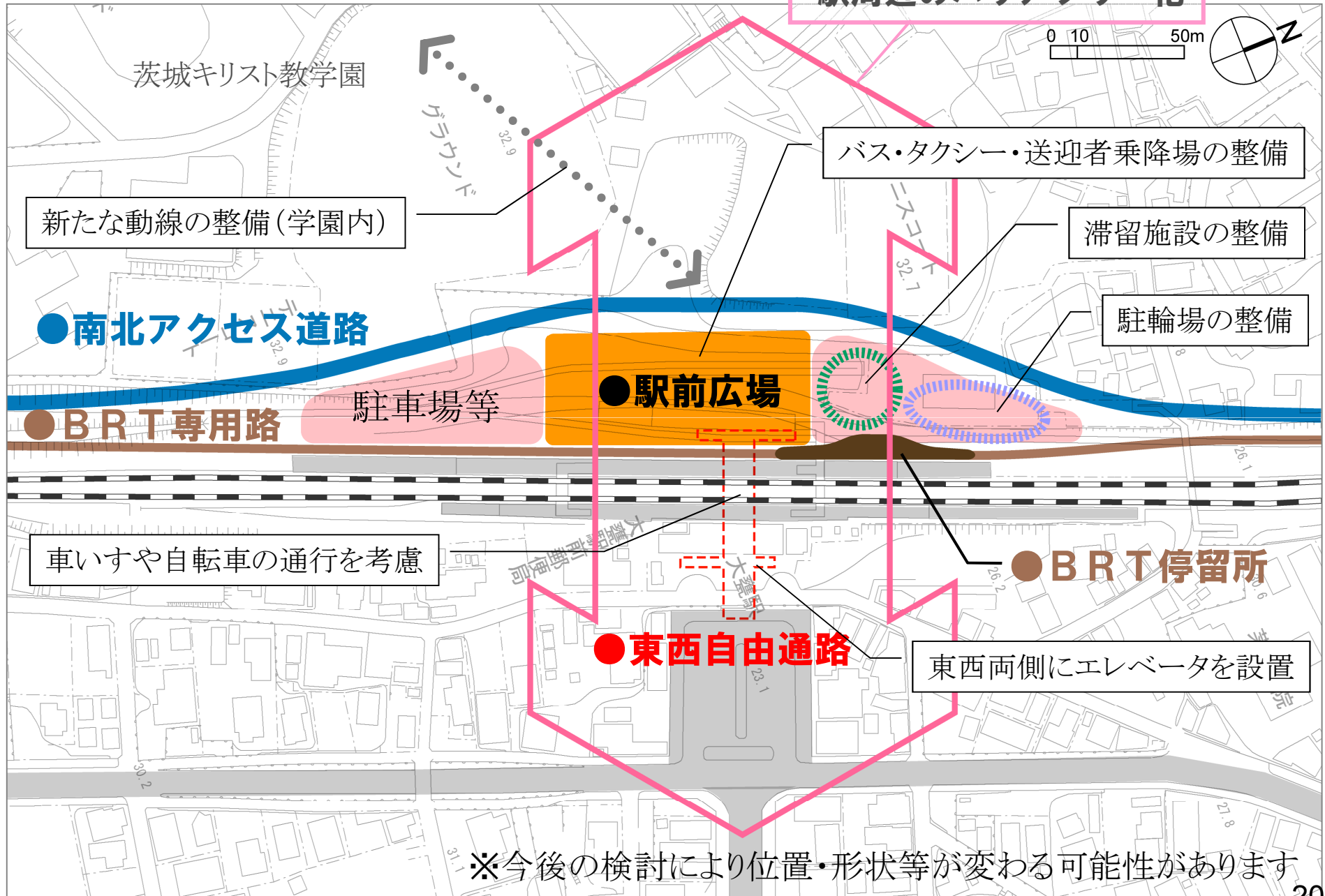
駅舎		<ul style="list-style-type: none"> 地下化・バリアフリー化 	
自由通路		<ul style="list-style-type: none"> 通路部は車いすや自転車の通行を考慮 東西両側にエレベーターを設置 	
BRT	専用路	新交通導入計画(平成23年1月策定)に基づき整備。	<ul style="list-style-type: none"> 往復1車線(単線運行)、余剰地については基本的に歩道等を併設 等
	停留所		<ul style="list-style-type: none"> 車両行き違いのための施設を設置 バス乗降用の滞留スペースを各方向に確保 上屋やベンチを基本に関連施設を整備 地域が誇りを持てるシンボル性のあるデザインに配慮 等
西口駅前広場		<ul style="list-style-type: none"> バス・タクシー・送迎車(車いす対応)の乗降場を整備 交通手段同士の乗り換えのスムーズさに配慮 駅前広場に隣接して駐輪場、滞留施設(休憩、利便機能等)を整備 	
南北アクセス道路		<ul style="list-style-type: none"> 車道(往復2車線)、自転車歩行者道を整備 	

整備計画素案(全体図)



※今後の検討により位置・形状等が変わる可能性があります 19

整備計画素案(駅周辺拡大図)



- ・東西市街地の一体化
- ・駅周辺のバリアフリー化

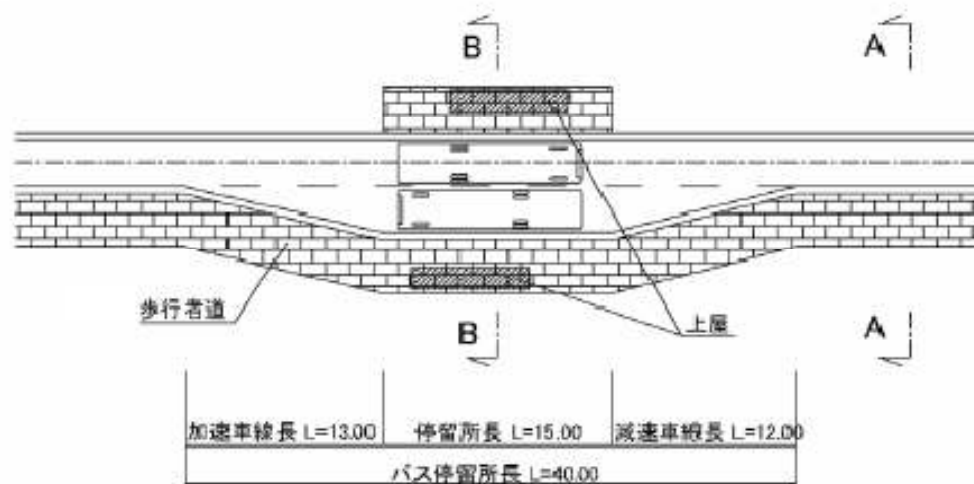
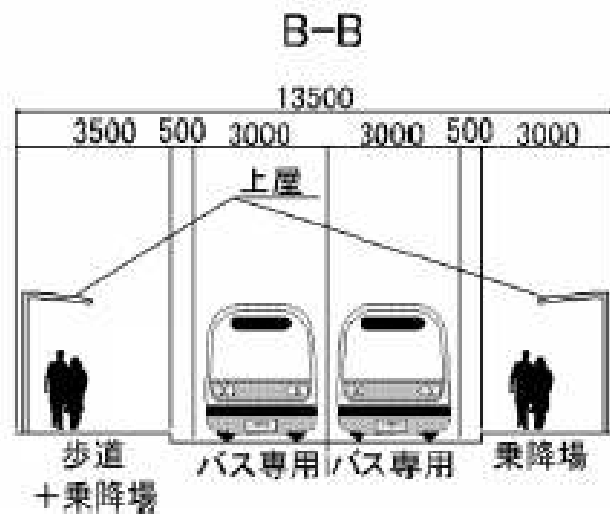
※今後の検討により位置・形状等が変わる可能性があります

整備後イメージ

自由通路



BRT停留所

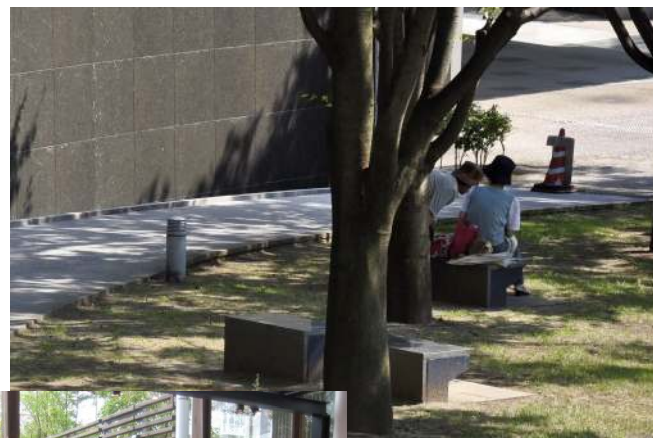


整備後イメージ

駐輪場



滞留施設





終わり